

## 「びわこボートレース場中期経営計画2025」(骨子案)について

### 1 策定の趣旨

びわこボートレース場では、令和元年度に「びわこボートレース場中期経営計画2020」を策定し、中期的な目標および方針を明らかにし、今後の当場の経営を安定的かつ継続的に実施していくための指針として位置づけ取り組みを行ってきました。

本計画の計画期間が令和6年度末までであることから、現行計画における成果と課題、状況の変化を踏まえ、安定的に経営していくため次期計画を策定します。

### 2 計画の期間

令和7年度から令和11年度の5年間

### 3 今後の予定

令和6年

12月 総務・企画・公室常任委員会(素案)

令和7年

3月 総務・企画・公室常任委員会(最終案)

計画策定

# びわこボートレース場中期経営計画2025 骨子案

## はじめに

### 1 策定趣旨

- R2.3、当場の経営を安定的、継続的に行い、一般会計繰出金を確保することにより、県財政に貢献するという公営競技の使命を果たし続けることを目的とし、現行計画である「びわこボートレース場中期経営計画2020」（R2年度～R6年度）を策定した。
- 引き続き将来に向けての中期的な目標、方針を明らかにし、今後の当場の経営、更には県財政や地域への貢献を安定的に行うため、本計画を策定する。

### 2 計画期間

R7年度からR11年度までの5年間

## 第1章 びわこボートの現状

### 1 売上・財務状況

- びわこの売上は急拡大（R元年度 401億円 → R5年度 735億円）
  - ネット投票の売上が大幅に増加（R元年度 223億円 → R5年度 545億円）
  - 一方、本場の売上は減少（R元年度 36億円 → R5年度 31億円）
  - 全国24場の中では売上順位は依然低位（R元年度 23位 → R5年度 21位）
- 建設改良積立金積み上がる（R元年度 5.5億円 → R5年度 67.7億円）
- 企業債はR3年度に完済。（R元年度末残高 35億円）

### 2 前回計画時点(令和元年度)からの状況の変化

- 業界の取組によるネット投票の急伸（ネット会員数：R元年度96万人 → R5年度148万人）
- 各場ともに売上は拡大するもののナイター場とそれ以外の場の差が拡大
  - ナイター場の売上平均 R元年度956億円→R5年度1,508億円 +552億円
  - ナイター場以外の売上平均 R元年度514億円→R5年度 803億円 +289億円
- 本場来場者の減少（来場者数：R元年度20.5万人→R5年度16.6万人）、それに伴う遊休スペースの常態化
- 旧スタンドの解体完了、従来設備の老朽化・陳腐化
- 当該レースへの転旋を希望しない選手が増加

## 第2章 現行計画の総括

### 中期目標に対する結果

単位：百万円、人

	(参考) R元年度	計画期間				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
売上						
目標	-	38,200	38,000	34,900	35,400	35,900
実績 (R6は予算額)	40,113	67,531	72,240	69,349	73,574	64,800
場間場外発売売上 本場+レイクル						
目標	-	3,680	3,957	4,250	4,314	4,374
実績 (R6は予算額)	3,248	2,582	3,955	3,470	3,143	3,230
経常利益						
目標	-	100	421	-88	498	600
実績 (R6は予算額)	1,404	4,003	2,475	2,110	2,226	254
繰出金						
目標	-	300	300	300	300	300
実績 (R6は予算額)	400	2,000	3,000	2,500	2,300	1,500
本場来場者数						
目標	-	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000
実績 (R6は見込み)	205,029	121,557	182,639	170,955	166,233	149,400

## 第2章 現行計画の総括（つづき） 各種施策に対する成果

### 1 多様なコンテンツと質の高いサービスの提供

- ・旧スタンドはR6.9に解体完了。跡地は一部を場内公園として整備し活用予定。
- ・現スタンドの3階遊休スペースは、試行的に子ども向け遊具を設置。
- ・既存ペア席の一部を3名以上で利用するグループシートやシングル席に改修。
- ・グレードレースの開催状況

年度	グレード	名称	売上額
R2	PG I	ヤングダービー	77.4億円
R3	G II	モーターボート大賞	46.3億円
R4	PG I	バトルチャンピオントーナメント	67.2億円
R5	G II	レディースオールスター	91.0億円
R6	G III	イースタンヤング	30.4億円

- ・他場に先駆け全レースの予想番組をYouTubeで配信。ネット投票を対象としたポイント付与制度(淡海ポイント倶楽部)や、AIを用いた舟券予想情報の提供開始(AI予想サイト)。

### 2 健全な経営の確保

- ・発売日数の拡大、ナイター発売の通年営業
  - R2年度 248日(ナイター145日)、R3年度 350日(ナイター250日)
  - R4年度 345日(ナイター全日)、R5年度 349日(ナイター全日)
- ・起債はR2年度 11億円、R3年度 24億円を支払い償還済。以降、企業債の発行無し。
- ・組織名を「事業課」から「びわこボートレース局」に改組（R5年度）

## 第3章 目指すべき姿

多方面多世代から喜ばれる・選ばれる「びわこボートレース場」  
～ 健全な経営を土台に ～

## 第4章 各種施策

- ①ファンに喜ばれる・選ばれる
  - ・旧スタンドエリアの活用
  - ・現スタンドのリニューアル
  - ・SNS等を活用した広報・情報提供の充実
  - ・ビッグレースの誘致
  - ・多くの人が喜ぶイベントの開催
- ②選手に喜ばれる・選ばれる
  - ・競走水面の安全性の確保
  - ・選手棟の居住性向上
  - ・選手の安全・体調管理
- ③地域に喜ばれる・選ばれる
  - ・地域向け感謝イベントの開催
  - ・子どもの活動等の場を提供
  - ・社会貢献の情報発信
- ④健全な経営・その他
  - ・地方公営企業法全部適用への移行検討
  - ・BTS等の他場における場外発売の促進
  - ・ギャンブル依存症対策
  - ・職員の育成

## 第5章 中期目標および収支計画

< 予算編成を踏まえて記載 >